




残席わずか！ お早めにお申し込み下さい。

ふれあい  
トークサロン  
第34回



1. 日 時 **平成30年5月14日（月）** **PM 2:30~4:30**（受付 2:00~）
2. 会 場 **AP秋葉原**  
東京都台東区秋葉原1番1号 秋葉原ビジネスセンター ☎03-5289-9109
3. 講 話 『曾孫が語る幕末・維新に貢献したジョン万次郎の生涯』と  
『トロンボーン楽器の解説』…興味深い講話と音楽をお楽しみください…
4. 講 師 **野武 重忠（のたけ しげただ）氏**（音楽家・ジョン万次郎の曾孫）  
1941年、東京京橋生まれ。曾祖父は鎖国時代に日本人として初めて米国に渡り、日本の近代化に貢献したジョン万次郎（中浜万次郎）である。  
1964年、東京芸術大学器楽科（トロンボーン専攻）卒業。入学当時の音楽学部長は山田耕作であった。1964年から読売日本交響楽団に在団。日本初のプロ吹奏楽団・東京吹奏楽団などでもトロンボーン奏者として活躍。  
1971年より東京芸術大学、洗足学園大学、東邦音楽大学にて多くのトロンボーン奏者を指導。現在はアマチュアのオーケストラ、吹奏楽団の発展のため幅広く活躍中。  
  
**中浜（ジョン）万次郎**（なかはま まんじろう）：1827~1898  
土佐中ノ浜浦（現、高知県土佐清水市）の漁師の子。1841年、14歳の時漁に出て遭難、仲間数人と無人島（鳥島）に漂着。約半年後にアメリカの捕鯨船ジョン・ハウランド号に救助されてホノルルに寄港。  
万次郎だけは更に1年半の捕鯨を続け、1843年にマサチューセッツ州ニューベッドフォードに帰港。船長（ウィリアム・ホイットフィールド）の好意でフェアヘイブンの町にある船長宅に下宿して学校教育を受け、1852年に25歳で帰国。  
帰国後は幕府の外交官交書簡の翻訳等に従事、1860年の日米修好通商条約本書の批准交換の遣米使節に随行。  
明治維新後は東大の前身学校の一つである開成学校の英語教授を務めた。
6. 参 加 費 **1,000 円**（当日会場にていただきます）
7. 申込期限 参加ご希望の方は**5月7日（月）**までに同封の「参加申込書」  
又は **FAX 03-6240-9382**にて事務局宛にお申し込みください。  
※日退協ホームページからも申込みできます。
8. そ の 他 どなたでも参加できます。お友達やお仲間を是非誘って下さい。  
新入会員大募集中です。同僚、友人、知人を是非ご紹介下さい。